

提 案 書 要 約

1 事業名称	オフィス・倉庫の遊休什器循環によるプラスチック等廃棄物削減モデル事業 ― 都内複数法人連携による社会実装実証										
2 申請者名	PAX TOPOLOGY株式会社（代表取締役 奥村 拳）										
3 内容											
背景・課題 都内の法人が保有するオフィス什器・備品（椅子・収納・間仕切り・什器類）や倉庫の機材・備品（ラック・コンテナ・パレット・保管什器等）には、プラスチックを主材とするものが多く含まれる。これらは拠点の改装・統廃合や契約・利用の終了に伴い遊休化し、稼働を終えると廃プラスチック・産業廃棄物として廃棄される一方、別部署・別企業では同種品が新たに購入されている。これは「廃棄コスト」と「新規調達コスト」が同時に生じる二重の損失であり、廃プラスチック・廃棄物の発生源となっている。	ソリューション（遊休マーケット） 都内の複数法人が保有するオフィス・倉庫の遊休什器を、当社が開発・運営する資源循環経営プラットフォーム「遊休マーケット」上で可視化・マッチング・循環させ、廃棄（廃プラスチック・産業廃棄物）の発生を削減する。あわせて、循環により削減されたプラスチック量・CO2排出量・コストを定量的に算定・可視化し、企業会計・環境会計上のインパクトとして示す。										
実証内容											
弊社が開発する資源循環プラットフォームを活用し、参加企業の廃棄予定のオフィス什器・倉庫備品の出口を発見し、廃棄を回避する。 	実施体制・期待効果・波及 本プロジェクトの実施体制とスケジュール  <table border="1"><thead><tr><th>時期</th><th>内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>交付決定後～実証完了まで</td><td>実証参加企業・対象資産の確定、遊休資産のカタログ化開始</td></tr><tr><td>9～10月</td><td>エリア内・企業間マッチング、再配置の実証、削減量の計測</td></tr><tr><td>11～12月</td><td>対象拡大、効果検証、カーボン算定・検証（中間報告：11月末予定）</td></tr><tr><td>1～2月</td><td>実証結果の取りまとめ、報告書作成・情報発信、実績報告、展示会での成果報告、計5回のウェビナー開催</td></tr></tbody></table>	時期	内容	交付決定後～実証完了まで	実証参加企業・対象資産の確定、遊休資産のカタログ化開始	9～10月	エリア内・企業間マッチング、再配置の実証、削減量の計測	11～12月	対象拡大、効果検証、カーボン算定・検証（中間報告：11月末予定）	1～2月	実証結果の取りまとめ、報告書作成・情報発信、実績報告、展示会での成果報告、計5回のウェビナー開催
時期	内容										
交付決定後～実証完了まで	実証参加企業・対象資産の確定、遊休資産のカタログ化開始										
9～10月	エリア内・企業間マッチング、再配置の実証、削減量の計測										
11～12月	対象拡大、効果検証、カーボン算定・検証（中間報告：11月末予定）										
1～2月	実証結果の取りまとめ、報告書作成・情報発信、実績報告、展示会での成果報告、計5回のウェビナー開催										
再利用により回避された新規調達・廃棄について、プラスチック削減量（重量）・CO2削減量・コスト削減額を、GHG Protocol（Cat.1・Cat.5）及び環境省排出原単位データベースに基づき算定・検証する。 	実証結果を取りまとめ、ポータルサイトの開設・ウェビナーおよび都内での展示を開催し、法人が保有する遊休資産の循環活動を知り、体験できる機会を創出する。 										